

出版企画書

●タイトル案

かっこよさよりも、中味が正確に伝わるのが大事です。サブタイトルがあってもかまいません。

●著者の名前

本名もしくはペンネーム、ニックネーム

●著者プロフィール

最も読者が共感し信頼を寄せてくれるような人物像を書きましょう。

●書籍の内容

カテゴリーやジャンルをまず書いてください。次に出版コンセプトの「①何を」を写します。

●企画の理由

あなたが出版しようとした動機や理由を書いてください。本気の度合いが伝わるよう書きましょう。

●企画意図

この本が、読者のニーズに合っていること、そして出版する必然性を書いてください。「出版コンセプト④ベネフィット」の内容を整理して書くといいです。

●企画の背景

時代的、社会的な背景を踏まえ、なぜ今、この本を出版すべきなのかを書いてください。

●読者ターゲット

「②誰に（想定する読者）」を写します。第三者が見てもわかるように書いてください。購買する動機の強さも大事です。

●判型・カラー

判型とは本の大きさです。通常は菊判かB6版です。

カラー（色）とは、何色のインクを使って印刷するかということです。カラー/1色/2色のいずれかとなります。

●グラフ、イラスト、写真

本の製作費に関係してくる項目です。どのくらいの点数を掲載したいのか。自分が用意できるのは何かなどを書きます。

●価格

本体価格について、いくらぐらいが想定読者には妥当かを考えて書きます。実用書なら 980～1980 円の範囲がほとんどです。

●類書の一覧/類書に対する差別化（ポジショニング）

同じジャンルで競合になりそうな本のリストを書いてください。そのあとに、類書とどのような点で違いを打ち出していくのかを書いてください。出版コンセプトで検討した「ベネフィット」が参考になるはずですが。

●出版の販売促進案

著者自身が実施できる売るための施策です。

●出版時期

発売を開始したい時期について希望を書きます。

●誌面（本文の見開きイメージ）

希望があれば書きます。例えば、「左ページが図表、右ページが文章」といった形式などを希望する場合は、そのイメージが伝わるように書きます。

●印税条件

「貴社の規定にお任せし致します。」と書いておくのが無難です。